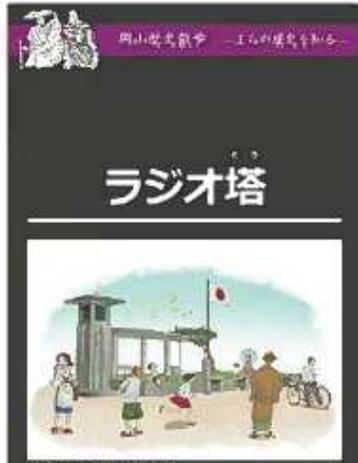


難波 抱節

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区御津金川600	
		 <p>岡山歴史散歩 ー上たの歴史を知るー</p> <p>難波抱節</p> <p>江戸時代後期に前名の名匠と譽われていました。</p> <p>難波抱節は、寛政3年（1791）に生まれ、15歳の時に備前岡山藩家老日蓮宗の侍医・藤原立庵の養子となり、21歳から京都、和歌山、大坂で絵巻・内科、麻酔薬による手術法や漢学を学びました。25歳で養父に侍進し『出雲草紙』を開成すると、全国から門下が集まりました。天然痘の予防に尽力することになり、コレラの診察・治療に西学を習得しましたがこれに感染、69歳で生涯を終えました。</p> <p>医療先進地と譽れる岡山県では、今でも抱節の「道は仁術」という教えが生き続けています。</p> <p>岡山県立 岡山県立美術館 1941</p>

ラジオ塔

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区津倉町1-9 上伊福西公園	
 <p>津倉稲荷別院 津倉変電所 津倉町2 津倉町1 PASCO iPC</p> <p>凡例 ✕ : 設置位置</p>		 <p>岡山歴史散歩 一歩の歴史を知る</p> <h2>ラジオ塔</h2> <p>昭和17年（1942）頃、ラジオ普及のために設置されたものですが、後継機の放送機や当時の生活とラジオとの関係を物語る貴重な遺産です。当時は戦時高揚のための戦争報道や、将校としてスポーツ中継や音楽などが放送され、放送中は周りに人だかりがでるほどの賑わいがあったようです。</p> <p>その後、家庭内ラジオが普及したため存在が忘れられていたが、平成27年（2015）に地域住民が再発見し、津倉町町内会が改修を行いました。現在、町内会では夏休み中のラジオ体操やお月見茶会など、ラジオ塔を積極的に活用する取り組みを行っています。</p> <p>岡山市北区津倉町1-9</p>

【大安寺】の地名の由来

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区大安寺西町4-5	
 <p>凡例  : 設置位置</p>		 <p>岡山歴史散歩 一まじの歴史を知る一</p> <p>【大安寺】の地名の由来</p> <p>大塚山南側の山麓一部は、古代には古墳の穴窟と呼ばれた入海の、干潟のある海辺の土地であった。奈良時代（8世紀）に、朝廷（政府）が民間開墾の土地の開発を認めるようになると、部の有力寺院の大安寺がこの地の干拓を手掛けて荘園にしました。</p> <p>干拓地は、50町（約50ヘクタール）の広さがありましたが、大部分が未開地であり、田畑は一部分でしかありませんでした。</p> <p>その後干拓が進み、一帯的な田地となり、村落もできるようになると、荘園領主の大安寺が地名や村名となりました。</p> <p>岡山市史、岡山市史を編む会刊 <small>岡山市史 岡山市史を編む会刊</small></p>

盲啞学校跡

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区番町1丁目14-9	
		 <p>岡山県における障がい児教育の先駆けとなった施設です。</p> <p>明治41年(1908年)11月、一帯町の岡山縣教育會館内に私立岡山縣教育會館盲啞院として開校しました。その後、明治43年(1910)4月には私立岡山盲啞學校へ、昭和2年(1927)4月には県営に移管したことで岡山県盲啞學校へと改称を重ね、同年5月には北方へ移転しました。昭和23年(1948)には、盲学校・聾学校教育の義務化に伴い、西吉松で岡山盲学校と岡山聾学校に分離しました。</p> <p>その後、岡山盲学校は昭和27年(1952)に、岡山聾学校は昭和47年(1972)に現在地に移転し、以降、現在まで岡山県の盲・聾教育の専門機関として、大きな役割を果たし続けています。</p> <p><small>(情報提供: 岡山市北区西地区連合町内会 岡山市)</small></p>
<p>凡例</p> <p> : 設置位置</p>		

番町武家屋敷・疎開道路

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区番町2-1 北消防署番町分署前南西角	 <p>岡山藩七代目 二上正信公を祀る</p> <p>番町武家屋敷・疎開道路</p> <p>下級武士の宿舎町で、東から西へ一番町から八番町までありました。</p> <p>番町から五番町までは徳川初期（1596～1615）から次第に町筋整にはり、古名「伊勢宿前町」と言いました。六番町・七番町は寛文8年（1668）に、八番町は元禄年間（1688～1704）に出来た。現在の岡山地力藩所領りが七番町。法務局同庁舎辺りが八番町でした。</p> <p>現在は道路拡充により一番町から六番町までが残り、江戸時代以降から残る歴史の古い町筋や区画をほぼ残しています。第二次世界大戦中には、空襲による延焼防止のために家を強制撤去し、番町を中心に東西に走る広い街開道路が建設されました。</p> <p>（情報提供 岡山県立歴史民俗学館） 岡山市</p>
 <p>凡例  : 設置位置</p>		

庭瀬陣屋町

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区庭瀬566-1付近	
		<p>庭瀬町とは、5万石以下の中・大名の領地の城下町としてつくられた町です。</p> <p>慶長5年(1601)、徳川家の台頭の戦功により、戸田達安が備前国内で幕府の陣屋主となり、領主の御殿を仮所として「庭瀬陣屋」を構えました。また、日笠方向に千屋大町を主幹とする半田町・本丁町・正徳院・大泉庵と並び「半田陣屋」を設けました。陣屋敷の奥方である徳瀬宮内史有忠が陣山である園崎寺には、虎ノ尾陣屋が築かれていました。</p> <p>元禄12年(1699)、正徳院(千屋塚)から板橋屋敷が入府し、町並刷新まで3回続きました。御倉敷は「釜山御蔵」、蔵は「御蔵」を襲称しました。真徳寺である松林寺には「庭瀬陣屋御蔵」があります。</p> <p>井原町の幕府別荘で、大邸・数寄・御山から遠くはなれた場所を得たし、築城前後「御付」陣の川邊に位置し、町並には高島灯が並び、町並交通の拠点として築きました。</p> <p>岡山市 北区 庭瀬566-1</p>

松林寺

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区庭瀬707付近	
		<p>凡例</p> <p> : 設置位置</p>
		<p>岡山歴史館中 岡山文化センター</p> <h2>松林寺</h2> <p>松林寺は西暦850年頃の創建で、本尊として地蔵菩薩を祀っています。</p> <p>延暦2年(783)、東遷帝から醍醐天皇(貞観中)の遷都に伴って建てられた醍醐天皇の御願寺として、また、播磨国三原郡の城主であった藤原朝臣(丹心)の棟敷(580坪の水田)を受け、後に平家山と改称されました。</p> <p>新棟造りは、伊勢神宮へ参詣したことから、境内に「御願大御所大神宮」とあり、本尊として上記の神像(伊勢大御所)を祀りました。</p> <p>延暦元年(783)、醍醐寺中興の祖・百濟僧侶が来山し、神像を祀り、「福祿長命尊大菩薩」と尊称したと傳われています。</p> <p>元禄15年(1702)、十住山(山崎)の時、醍醐藩主松平家の菩提寺となり、菩提寺として現在の形に改められました。寺内に「伊勢大御所」の「御願大御所」があり、重要文化財として、異言神像として保存されています。</p> <p>岡山歴史館 資料(1)岡山文化センター</p>

市川喜左衛門生誕地

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区芳賀5111-22付近	
<p>凡例 : 設置位置</p>		<p>岡山歴史散歩 一歩の歴史を知る</p> <p>市川喜左衛門生誕地</p> <p>日本で最初のキリシタン殉教者です。 天文2年(1533)、市川喜左衛門は上芳賀で生まれました。堺の商家に奉公し、布教活動を行っていましたが、豊臣秀吉のキリシタン弾圧により逮捕されました。「はだし」で京都から長崎まで、880kmを28日間歩かされ、慶長2年(1597)2月5日、長崎西坂で処刑されました。</p> <p>文禄2年(1862)、ローマ法王により聖人に列せられ、「聖ディエゴ喜左衛門」として日本26聖人の一人となりました。年齢は64歳で、最年長者でした。</p> <p>喜左衛門の死後、上芳賀の人々は丘の上にあった集岩を「天主岩」や「やこぼさん」と呼び寄っていましたが、昭和33年(1958)、地元有志によってこの岩の上に墓が建てられました。</p> <p>墓は向かいの山の中にあり、春になると桜に包まれます。</p> <p><small>情報提供: 株式会社源和(株) 岡山</small></p>

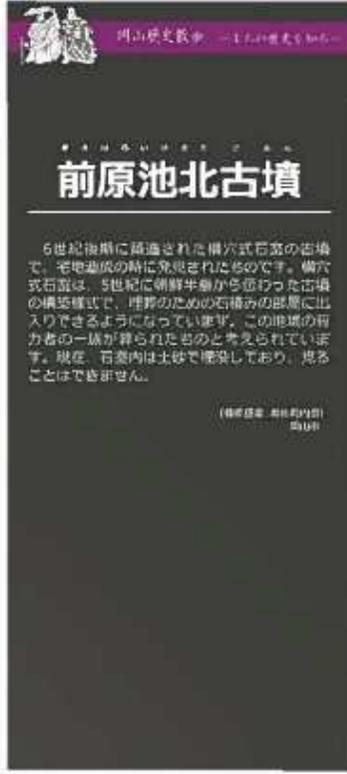
林原古墳群

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区牟佐1750付近	
 <p>Map showing the location of the Murahara Kofun Group (marked with a red 'X') near Muraoka, Okayama City. The map includes a compass rose, a scale bar, and the PASCO iPC logo. The area is labeled '牟佐' (Muraoka) and shows various numbered plots (1768, 1733, 1734, 1750, 1709).</p>		 <p>岡山歴史散歩 - 土佐の歴史を知る -</p> <p>474466246464</p> <h2>林原古墳群</h2>  <p>6世紀後半から7世紀前半頃にかけて築造された古墳群であると考えられています。118基の古墳が確認されており、朝鮮半島から伝えられた横穴式石室も見られます。このうち、製造が行われてきた5号墳、6号墳（いずれも仮称）からは、高や蓋などの須恵器やガラス小玉や水滸丸玉などの装身具、釘や鏝などの鉄製品が出土しています。</p> <p>当地に多くの古墳が見られる理由として、厳しかった瀬川の水道が影響しているとも考えられています。</p> <p>（岡山県 文化財課） 2016</p>
<p>凡例</p> <p> : 設置位置</p>		

牟佐渡場

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区牟佐1595付近	
 <p>Map showing the location of the Muzo Ferry Crossing (marked with a red 'X') near address 1595 in Muzo, Kita-ku, Okayama City. The map includes a compass rose and a legend.</p> <p>凡例 ✕ : 設置位置</p>		<div data-bbox="1429 414 1836 1244"> <p>岡山歴史散歩 - 暮らしの歴史をたづねる -</p> <p>岡山県 岡山市北区</p> <h2>牟佐渡場</h2>  <p>古代から近世まで、牟佐渡場は陸路と水路が交差する交通の要衝で、山陽道や倉敷往来の渡船場・宿場町として、船宿所や旅館、土産物、雑貨等の店が軒を連ねていました。当地は現在も「渡場」と呼ばれており、漏れていた当時の店の名称などが民家の屋号として遺跡残っています。</p> <p>平成27年度岡山市区づくり推進事業「古代山陽道の道元と伝承」では、牟佐町内会がこれら进行调查し、記録として残す取り組みを行いました。</p> <p>情報提供：牟佐町内会 岡山市</p> </div>

前原池北古墳

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区牟佐2945-26付近	※提案者の要望により、絵図等は記載しない
 <p>凡例  : 設置位置</p>		 <p>岡山歴史散歩 ー11の古墳と池ー</p> <p>前原池北古墳</p> <p>6世紀後半に築造された横穴式石室の古墳で、若地浦成の時に発見されたものです。横穴式石室は、5世紀に朝鮮半島から伝わった古墳の構築様式で、埋葬のための石積みの部分に入りできるようにしています。この地域の有力者の一墓が葬られたと考えられています。現在、石室内は土砂で埋没しており、見ることはできません。</p> <p>(情報提供: 岡山市内史 岡119)</p>

尾上車山古墳

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区尾上1124付近	
 <p>凡例  : 設置位置</p>		

中山茶臼山古墳

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区尾上 大吉備津彦命御陵付近	
<p>凡例 : 設置位置</p>		<p>岡山歴史散歩 一歩の歴史から</p> <p>中山茶臼山古墳</p> <p>古墳時代前期（4世紀頃）に築かれたと推定される、全長105mの大型前方後円墳です。宮内庁により、西道程塚として大和から通過された「吉備津彦命」の墓と指定されています。本古墳は前方部の長さが短いことが特徴で、2010年の宮内庁による測量調査では、墳長が105m、後円部径は長軸で68m、短軸で64m、前方部前幅幅が約45m、後円部前部と前方部後部の比高差が6mとなっています。また、墓域からは銅鏡出土しています。</p> <p>（撮影提供：吉備文化センター） <small>岡山県立歴史博物館</small></p>

庭瀬往来

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区平野238-1付近	
 <p>凡例 ✕ : 設置位置</p>		 <p>岡山歴史散歩 17の歴史と文化</p> <p>庭瀬往来</p> <p>備前岡山(岡下)から備前・笠原・基成・正虎を経て、備前へ入る新江崎六段道の一つ、「備前往來(備前中街道)」の一部でした。</p> <p>江戸時代の人々は、井山間の庭瀬川で船を繋ぎ、新江崎を渡り、新江崎(備前上川の河原)まで港渡ししていました。</p> <p>備前備中両氏は、備前備中の沿道方面に本陣大邸を主屋とする「本陣屋敷」を設けました。寛政12年(1699)に入府した新倉氏は、寛政4年(1792)に備前備中を兼る「備前備中」を創設しました。文政6年(1823)には本陣「本陣屋敷」が豊かになりました。本陣の頃の備前川の一角が住居地であったため、伊賀のたぬきの「お蔵敷」があります。</p> <p>平成27年(2015)「備前備中」の復元を目的としています。</p> <p>1 備前備中 備前備中両氏 備前備中</p>

陣屋町足守の成り立ち

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区足守979	

✕:設置位置

岡山歴史散歩 -陣屋町足守町まみめぐり-

陣屋町足守の成り立ち

The history of Ashimori
(Copyright © 2014 Okayama City)

The start of the Ashimori Domain goes back to 1601, when Itoada Kinoshita, the elder brother of Hideyoshi Toyotomi's wife Nene, was given this place as territory after the Sekigahara Battle. The size of the territory was 25,000 koku. After the Summer Siege of Osaka, in which the Toyotomi family was annihilated, the Ashimori Domain continued to survive the Edo period under the Tokugawa government for about 260 years until the Meiji Restoration takes place. It is said that the urban improvement of the Ashimori was completed by 1686. Surrounded by several samurai residences, the feudal lord's residence and the domain governmental offices placed in the center of the Ashimori. The town was separated from the merchant town by two gates at the east area of the samurai residences. The towncape today basically follows the streets of Ashimori in those days, strongly maintaining the atmosphere of recent times.

近水園

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区足守803	
		<p>岡山歴史散歩 - 津屋町足守町まなめぐり-</p> <h2>近水園</h2> <p>Omizuen Garden</p> <p>宮地山を背景に、足守川の水を引き入れて造られた池泉回遊式庭園です。</p> <p>築庭時期は定かではありませんが、18世紀初め頃と推測されています。</p> <p>池のほとりに建つ吟風閣は、足守藩6代藩主自定が京都の仙洞御所の建築を行った際の残材を使用して建てられたと言われています。</p> <p>岡山市 Okayama City</p>

木下利玄の生家

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区足守801	

旧足守藩侍屋敷

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区足守752	
		<p>岡山歴史散歩 - 陣屋町足守町巡めぐり -</p> <p>きゅう あし もり はん さむらい や しほ</p> <h2>旧足守藩侍屋敷</h2> <p>足守藩木下家老職の旧宅です。</p> <p>武家屋敷の中心地に位置した家老屋敷の一つであり、母屋は伝統的な武家書院造の構造を持ちます。</p> <p>家老屋敷のたたずまいをほぼ完全に近い形で伝えているという点では、県下唯一の貴重なものです。</p> <p>岡山市 Okayama City</p>

旧足守商家藤田千年治邸

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区足守916	
		<p>岡山歴史散歩 - 陣屋町足守町並みめぐり-</p> <p>きゅう あし もり しょう か りし た せん ねん じ てい</p> <h2>旧足守商家藤田千年治邸</h2> <p>藤田千年治は、足守で醤油製造業を始め、代々の当主がその名を引き継いだといわれています。</p> <p>建物は、江戸時代末期に建築され、明治以降に本瓦葺入母屋二階造漆喰塗りという現在の豪華な建物になりました。</p> <p>内部は、昔の醤油工場の様子が復元されており、足守の商家を体感することができます。</p> <p>Former Merchant Residence of Fujita Sennenji Fujita Sennenji began producing soy sauce in Ashimori. It is said that the heads of the family succeeded his name from generation to generation. The house was built at the end of the Edo era, and during the Meiji era it was rebuilt into this present luxury residence of a two-story hip-and-gable roof structure covered with mortar. Such architectural style is known as Irimoya style, and the formal tiles on the roof are called Hongawara. Inside of the house, a soy sauce factory of the old days is restored, and one can feel what a merchant house in Ashimori area was like in the past.</p> <p>岡山市 Okayama City</p>

観世音石仏（持宝院）

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区立田835	
		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> </div> <div style="text-align: center;"> </div> </div> <p>観世音石仏 (持宝院)</p> <div style="display: flex;"> <div style="width: 45%;"> <p>観世音石仏 (持宝院) 岡山市北区立田の各所には、自然石の平坦面に地盤形を主体に一部半内彫を用いた素朴な造形の石仏が分布しています。同様の石仏は、北は岡山市北区立田、東は茶臼山にも認められ、地蔵信仰の石仏です。持宝院境内の観世音石仏。または十二観音尊と呼ばれる石仏には、「天文十三年三月廿日 福徳寺文藏入」という銘文があり、立田地区内の平山にあった福成寺の僧が建立したことがわかります。そのため、同様の神像を有する石仏は、文興寺石仏と推定されています。石仏の多くは笠塚と隣接を持つ地蔵堂です。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>Kanzeon Sekibutau (Stone Buddha Statue of Kanzeon) in Jihoin Temple The stone Buddha statue of Kanzeon in Jihoin Temple, also known as the eleven-face Kannon, has the inscription. It tells that the statue was built by a Buddhist monk from Fukujoji Temple located in Hirayama of Takamatsu Area, on a day of good fortune in March 1545.</p> </div> </div> <p style="display: flex; justify-content: space-between;">岡山府Okayama City</p>

高松知行所跡

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区高松原古才323-34	
 <p>The map shows the location of the site (marked with a red 'X') in Takamatsu Chigyosho, Okayama City. It includes a compass rose, a scale bar (30m), and labels for '高松稲荷' (Takamatsu Inari) and '高松商工会館' (Takamatsu Chamber of Commerce). Logos for PASCO and IPC are also present.</p>		 <p>The information panel features a purple header with the text '岡山歴史散歩 -高松の歴史めぐり-' and '高松知行所跡'. It includes a logo of a white bird, a site plan diagram, and bilingual text in Japanese and English. The Japanese text describes the site as the historical site of the jinya of the hatamoto, Mr. Hanafusa, who was a retainer of Mr. Ukita. The English text provides the same information. The footer lists '岡山市' (Okayama City) and 'Okayama City'.</p>

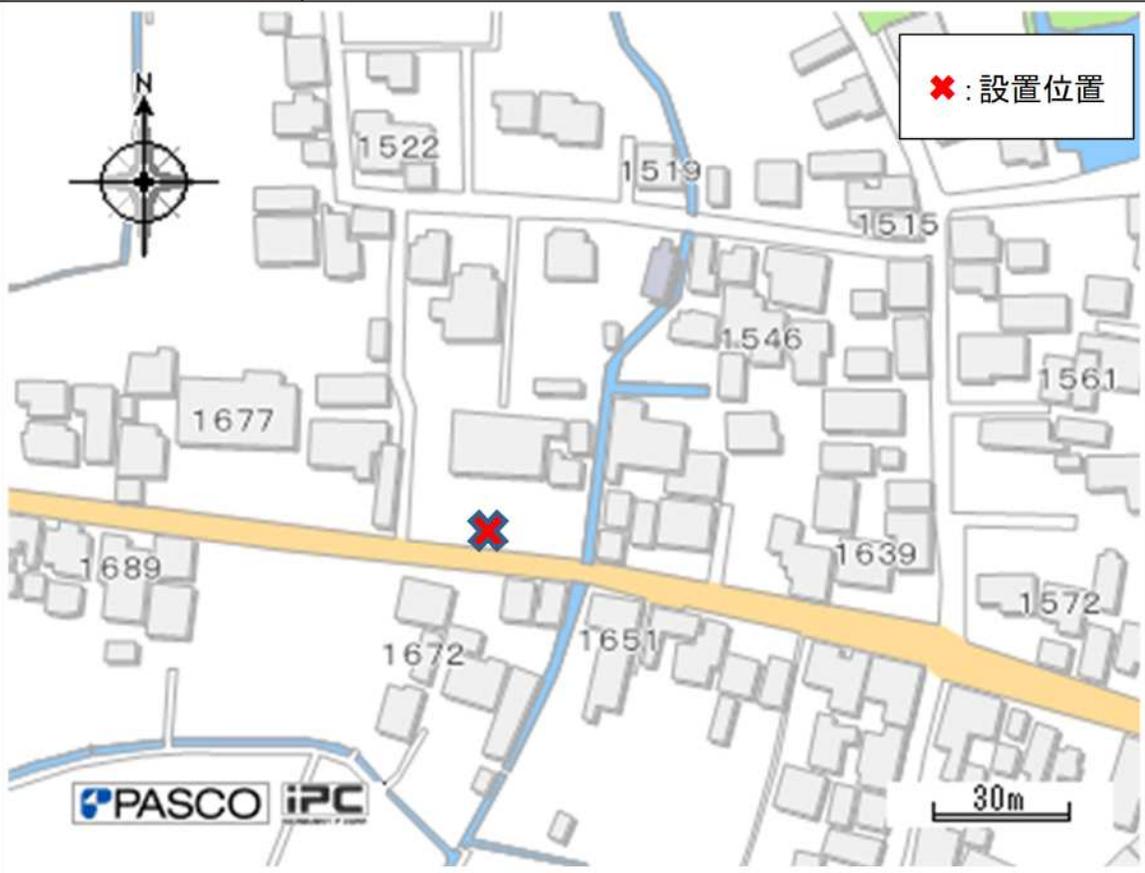
宿場町板倉

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区吉備津1109	

神領会所

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区吉備津1583付近	
		<p>岡山歴史散歩 一期の歴史めぐり</p> <p>K A S A R A F U J I A</p> <h2>神領会所</h2> <p>神領会所 岡山県指定重要文化財の吉備津神社境内の南端と裏を挟み、江戸時代には、吉備津神社旧社務所の古い建物(長屋門)が残っています。これは、江戸時代に三代将軍徳川家光から交付された朱印状によって御朱印所となった吉備内村を支配するための会所(税務所)の跡です。会所は、神領役所ともいわれ、江戸時代の絵図によると、長屋門をくぐって広場となり、その南側に土蔵を構えていました。</p> <p>岡山市</p> <p>Jinryo Kashiho (Site of a Government Office) An old building of old shrine office of Kibitsu Shrine is left on the opposite side across the road from the southern end of corridor of Kibitsu Shrine which is Okayama Prefectural designated important cultural property. This is the the meeting place to rule Miyouchi village. Miyouchi village was gave the shogunate Ioumei by the third general Shogun Tokugawa Iemitsu in the Edo period. The meeting place is also called Shiryo priest's office. According to the picture of the Edo period, there was a square passing through Nagaya gate, and a manhole was set up on the south side.</p> <p>Okayama City</p>

藤井高尚旧邸

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区吉備津1666	
		<div data-bbox="1413 352 1964 1316"> <p>岡山歴史散歩 - 高知の歴史めぐり -</p> <p>藤井高尚旧邸</p>   <p>藤井高尚旧邸</p> <p>藤井高尚は、江戸時代後期の吉備津宮の社司で、著名な国学者であり、本居宣長の高弟でもありました。高尚は自分の屋敷を御直島の「藤園」にならって「松の殿」と称しました。中国地方をはじめ、京都、四国にも多くの弟子があり、至徳文学を継いでいます。高尚の弟子としては、横田金門、友枝三春、平井孝徳、藤谷天俊、清水宣明、平野寅らがいます。</p> <p>岡山市</p> <p>Former Residence of Fujii Takanao Fujii Takanao was a chief Shinto priest of Kibitsunomiya in the end of the Edo Period, a notable scholar of Japanese classical literature and a leading disciple of Motoori Norinaga. Takanao called his own residence "Matsunoya" after his master Norinaga's residence "Suzunoya".</p> <p>岡山市</p> </div>

栄西禅師生誕地

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区吉備津1453	
		<div style="text-align: center;"> <p>岡山歴史散歩 - 高校の歴史めぐり -</p> <p>岡山県立高等学校</p> <h2>栄西禅師生誕地</h2> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> </div> <div style="display: flex;"> <div style="width: 45%;"> <p>榮西禅師生誕地</p> <p>昭和47年（1972年）、栄西禅師が誕生したと伝わる旧部の跡地に、地元有志が建立しました。当時は、岡山県岡山市の片山法華寺の土地でしたが、後に建仁寺に寄進されました。</p> <p>正堂中央には、禅師の遺業を称する碑をお祀りし、その南側には、茶の普及・奨励に努められた功績を讃える、茶碗型の顕彰碑があります。平成26年、禅師の八百年大遠忌を記念し、建仁寺と栄西禅師信仰会と地元有志により整備され、同年3月27日、建仁寺派管長陛下を御導師に建仁寺の地蔵近末寺院の相阿闍梨や栄西禅師信仰会、地元有志、総勢約70名で落慶法要を執行了しました。</p> <p>現在は、岡山市北区の叡地山法華寺ご住職はじめ地元有志が大切に守られています。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>Birthplace of Reverend Yosai</p> <p>In 1972, members of the community put up monuments at the site where was said to be the birthplace of Reverend Yosai. Although the land was owned by Iyama-Hofukuj temple (soja city in Okayama prefecture), it was donated to Keninji temple later.</p> <p>In the middle of the site, there is a monument in honor of Reverend Yosai and on the south side, there is a tea-bowl shaped monument for his great achievements of the spread of tea culture.</p> <p>In 2014, the land was maintained by the followers (followers) of Reverend Yosai and community members, as the 800th anniversary of Reverend Yosai's death. The completion ceremony was held on March 27, 2014, by the total of 70 people including the chief priest of Keninji sect, monks of Keninji temple's sub temples, followers of Reverend Yosai and community members.</p> <p>The monument is now look care by the monk of Anyoji temple (Hijikai area of Okayama prefecture) and community members.</p> <p style="text-align: right;">Okayama City</p> </div> </div>

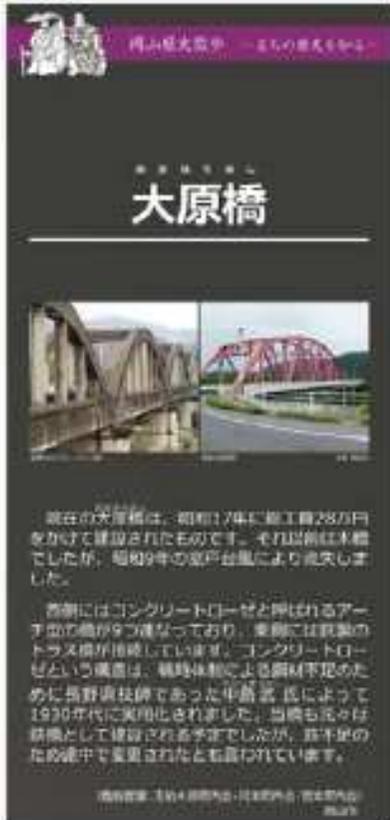
宗形神社古墳

平面図		表示内容
所在地	岡山市北区大窪193付近	
		

原遺跡

平面図		表示内容
所在地	岡山市北区御津宇垣1629付近	
 <p>凡例 ✕ : 設置位置</p>		 <p>岡山県史跡 一人の歴史をたどる</p> <h2>原遺跡</h2> <p>原遺跡は、岡山市北区御津宇垣にありまし た。この地域は、南庄を造れる前河と旭川から 旭川に合流する土砂川によって形成された、北 大な沖積平野から成り立っています。</p> <p>この地域の遺跡は、縄文土器発掘中に多数の 遺物が出土したことであります。発掘調査の結 果、遺跡は縄文前期、弥生前期、後漢時代の長 期にわたるもので、その範囲は35m×60mに なり、御津地域では最も広い範囲であるこ とが明らかになりました。</p> <p>原遺跡が岡山市北区御津宇垣にあり、遺跡・遺物が多く残されていることから、 御津地域において最も大規模な遺跡に属して いると考えられます。</p> <p>岡山県史跡 御津宇垣遺跡</p>

大原橋

平面図		表示内容
所在地	岡山市北区玉柏 県道27号沿 大原橋西詰	
		

旧上出石町

平面図		表示内容
所在地	岡山市北区出石町2丁目3-5	
<p>凡例 ✕ : 設置位置</p>		<p>岡山歴史散歩 - 支那の歴史をたどる -</p> <h2>旧上出石町</h2> <p>千鳥多留跡により岡山城下町の発展が知られたが、それまでの上出石町を新前原町へ移転し、その後に関東町の上出石町を造りました。しかし、北部にあった塚原上と呼ばれる河原が広がり始めたため、塚原→正保村に河原は二つに分け、北部を上出石町、南側を中出石町としました。東は堀川に臨し、津山江野に面した片側町でしたが、豊前大津後に豊前にも河原が築かれるようになり、同河原となりました。</p> <p>小町としては、天保、山石下家、新産村、黄の町といった地名がありました。</p> <p><small>岡山県立歴史博物館 岡山市北区歴史資料館 岡山市</small></p>

笠井信一と「濟世顧問制度」

平面図		表示内容
所在地	岡山市北区丸の内2丁目3 烏城公園内 笠井信一氏銅像横	
 <p>凡例 ✕ : 設置位置</p>		 <p>岡山歴史散歩 一丁町めぐり</p> <p>*****</p> <p>*****</p> <p>笠井信一と「濟世顧問制度」</p> <p>   </p> <p> 明治34年（1901）6月19日、笠井操三郎の三男として福岡県直方市に生まれました。大正3年（1914）から大正8年（1919）までの6年間は、岡山県知事を務めました。 大正5年（1916）5月28日、他の教員会議において、大正天皇から岡山県内の生活困窮者の生活扶助を命じられたことを契機とし、翌年に全国に先駆けて「濟世顧問制度」を創設し、防閑島済世勸業所を行いました。 これが戦前に及ぶ社会事業制度の始まりであり、戦後の民営委員制等に継承されました。 </p> <p> <small>資料提供：岡山県立歴史博物館</small> <small>2019</small> </p>

高瀬舟発着場跡

平面図		表示内容
所在地	岡山市北区出石町2丁目5-13 既設看板左横	
<p>凡例 ✕ : 設置位置</p>		<p>岡山歴史散歩 一上りの歴史を知ろう</p> <p>高瀬舟発着場跡</p> <p>江戸時代から昭和初期にわたり、瀬川を上り下りして運送を行った高瀬舟の発着場跡です。</p> <p>石組みの基礎はいわゆる「出石」と言われ、舟の発着・運上げや荷物の積み下ろしのために作られました。自然派の下丸割には「出石」が設けられ、高瀬舟の管理を行いました。</p> <p><small>岡山市北区出石町2丁目5-13</small></p>

土光敏夫さんのふるさと

平面図		表示内容
所在地	岡山市北区大安寺南町2丁目8付近	
<p>凡例 ✖ : 設置位置</p>		<p>ふるさと 土光敏夫さんのふるさと</p> <p>土光敏夫さんは大野小学校の卒業生です。大野小学校は昭和47年(1972)までは国公立の校にありました。土光さんはそこで数学に熱み、数珠山半蔵(富田城紀)に書かれた『時流』を読み取り、今年秋に出版されました。</p> <p>青年期に大野小学校の教師をしながら勉強をし、その後東京工業大学に進学。日本有数の企業(三菱)の役員に就任し、当時経営の危機にあった企業(三菱)の再建に尽力し、成功しました。その業績により政府(国)の第二次臨時役員委員に就任し、日本の経済発展に多大な貢献をされました。</p> <p>ふるさと(母校を思いやる土光さんは、昭和20年(1952)5月に大野小学校の校舎に電気設備を整え、池光との縁を大切にしました。</p>